

# 令和 7 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 NPO法人あいけあ

## 1 事業の成果

令和7年度は、主たる事業である生活介護事業及び放課後等デイサービス事業を安定的に運営するとともに、重症心身障害児者の地域生活の充実に向けた新たな取組を進めることができた。

生活介護事業においては、厚生労働省令和7年度障害者総合支援事業費補助金「特別支援学校卒業後における生活介護利用モデルの作成事業」の採択を受け、生活介護における日中活動を生涯学習の視点から再構成するとともに、ICTを活用した交流活動や在宅生活者への訪問支援の試行を実施した。検討委員会や成果報告会を開催し、特別支援学校卒業後の生活介護利用モデルについて広く発信することができた。

また、在宅生活を送る重症心身障害児者への訪問事業については、定期的な訪問や連絡を継続し、社会とのつながりや活動機会の確保に努めた。

地域との連携では、神奈川県立中原支援学校をはじめとする関係機関と協力し、「川崎市中部重症心身障害児進路対策ネットワーク」を立ち上げた。特別支援学校卒業後の進路課題について、学校・事業所・相談支援機関等が情報共有を行う仕組みづくりを進め、地域課題の解決に向けた第一歩を踏み出すことができた。

さらに、毎年恒例となった「Dreamweaver Live 2025 Winter」を開催した。障害の有無を超えて音楽を通じて交流する機会を創出し、多くの来場者とともにインクルーシブな地域社会の実現について考える場とすることができた。

法人全体としては、利用者一人ひとりの豊かな生活の実現を目指しながら、地域とのつながりや将来の制度・支援体制の在り方を見据えた活動を展開することができた。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

##### ア 生活介護事業

- ・内 容 医療ケアの必要な障害の重い人たち（成人）が、地域で安心・安全に、豊かで幸せな生活ができるための心地よい生活の場を提供した。また、生涯学習の視点を取り入れた音楽活動や ICT による交流活動等を実施した。
- ・日 時 4月～3月
- ・場 所 川崎市中原区井田杉山町8-21
- ・従事者人員 21人
- ・対 象 者 医療ケアの必要な障害の重い人たち（成人） のべ1,670人
- ・費 用 額 5,455,254円

#### ② 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

##### ア 放課後等デイサービス事業

- ・内 容 医療ケアの必要な障害の重い人たち（児童）が、地域で安心・安全に、豊かで幸せな生活ができるための心地よい生活の場を提供した。
- ・日 時 4月～3月

- ・場 所 川崎市中原区井田杉山町 8 - 21
- ・従事者人員 21 人
- ・対 象 者 医療ケアの必要な障害の重い人たち（児童） のべ 573 人
- ・費 用 額 631,973 円

③ 家庭や病院等への訪問事業

- ・内 容 在宅生活を送る重症心身障害児者に対し、訪問による活動支援や交流機会の提供を行った。また、生活介護利用モデル事業の一環として訪問型支援の試行を実施した。
- ・日 時 4 月～ 3 月
- ・場 所 利用者自宅
- ・従事者人員 3 人
- ・対 象 者 在宅生活を送る医療ケアの必要な障害の重い人 のべ 36 人
- ・費 用 額 4,600 円

④ 医療ケア等の実施に関する研修事業

- ・内 容 他団体への講師派遣や研修協力を行い、重症心身障害児者支援に関する知識及び技術の普及に努めた。また、法人内スタッフに対してオンライン動画研修サービスを導入し、必要な知識や技術を継続的に学べる環境を整備した。
- ・日 時 4 月～ 3 月
- ・場 所 川崎市内ほか
- ・従事者人員 2 人
- ・費 用 額 1,062,142 円

⑤ 地域関係機関等のネットワーク促進事業(情報提供事業)

- ・内 容 川崎市中部重症心身障害児進路対策ネットワークの立ち上げ及び運営、Dreamweavers Live 2025 Winter の開催、関係機関との情報交換及び交流を通じて地域ネットワークの促進を図った。
- ・日 時 7 月・12 月・ 3 月
- ・場 所 川崎市内ほか
- ・従事者人員 2 人
- ・対 象 者 重症心身障害児者及び地域関係者・一般市民 222 名
- ・費 用 額 554,752 円

※ 上記事業共通経費として、61,505,705 円